

イベント情報

● 第28回ふるさとウォッチング in 安曇野 三郷野沢

- 日 時 4月14日(日) 午前8時30分～午後1時
- 集合場所 野沢公園(安曇野市三郷温345)
- 定 員 60名(先着申込順)
- 申 込 事前申し込み 3月11日～4月12日 公式サイト 申込フォーム  
申込みはパソコンかスマートフォン、タブレット端末で行ってください。
- 参加費 1名1,000円(おにぎり代、資料代、保険代等)  
※ふるさとパートナー、中学生以下無料
- 主 催 NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
- 共 催 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
- 事務局 NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団  
〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内  
TEL 0263-81-1325(平日午前9時～午後6時)  
URL http://azumino-furusato.com

● 安曇野歴史サロン 4月例会

- 日 時 4月21日(日) 午後1時30分～午後3時 (開場 午後1時)
- 場 所 安曇野市 豊科公民館 大会議室
- 演 題 「安曇族」から「安曇氏族」へ、「ロマン」から「歴史」へ  
「安曇市族の興亡」
- 講 師 金井 恂氏
- 参加費 500円(会員:無料)
- 申 込 事前申込不要 (※入場多数の場合はお断りすることがあります)
- 主 催 安曇誕生の系譜を探る会
- 問合せ 事務局(川崎) TEL 090-5779-5058

● 緑のカーテン広げよう

- 日 時 4月27日(土) 午前11時～正午
- 場 所 安曇野市 碌山公園 研成ホール
- 内 容 大きな緑のカーテンになる朝顔オーシャンブルーの育て方のコツを学ぶ
- 申 込 事前申込必要(先着50名)
- 参加費 500円
- 主 催 NPO法人あづみ野風土舎
- 問合せ 事務局(今泉) TEL090-6929-9956

登録団体募集

安曇野市市民活動サポートセンターでは、センターに登録していただける団体等を常時募集しています。より多くの団体等に登録していただき、各種事業を展開していきます。登録していただくと各種まちづくり情報をお届けいたします。是非ご登録をお願いいたします。

安曇野市市民活動サポートセンター (平成31年3月31日まで)

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 毎週日曜日  
年末年始 12月29日～1月3日  
住所 〒399-8303 安曇野市穂高6658番地  
電話/FAX 0263-82-1922  
E-mail azumino-sk@bz03.plala.or.jp  
URL http://azumino-sk.net/

■ 4月1日からは本庁舎に移転します。

住所 〒399-8205 安曇野市豊科6000番地  
安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課窓口  
電話 0263-71-2013  
E-mail kururin@city.azumino.nagano.jp



平成30年度「つながりひろがる地域づくり事業成果報告会」

補助金を活用した多方面の活動が報告されました

～参加者が意見交換で交流も～

平成30年度「つながりひろがる地域づくり事業補助金」を活用した市民活動事業の報告会を、3月2日安曇野市役所本庁舎で開催しました。本年度は13団体が補助金を活用してまちづくり事業に取り組みました。報告会は市民や活動団体関係者約80名が参加して、ステージ発表やパネル展示で活動内容を共有しました。交流会で、この日の内容を振り返り、感想、意見交換で交流を図りました。

この補助金は、地域づくり事業を進めている団体が取り組んでいる事業を資金面から支援するもので、市内の団体にとっては最も身近なものになっており、毎年多くの団体が活用しています。

◆4団体から報告がありました

4団体(食の寺子屋給食部、下鳥羽区公民館、安曇野ドリンクフェスタ実行委員会、安曇野調理師会)が報告しました。活動テーマの見つけ方、事業の計画・実行など活動内容を、写真や資料をスクリーンに写し、分かりやすい説明でした。音楽を流すユニークな報告もあり、会場の雰囲気や和らぐ場面もありました。



下鳥羽区公民館の古文書を読む会は昭和19年8月に撃沈された学童疎開船「対馬丸」の船長が区の出身者であることを知り、冊子「太平洋戦時下の下鳥羽の記憶」を発刊したそうです。活動を通じてつながった対馬丸記念館他、関係した方々と交流を深め、沖縄の悲劇を語り伝えたいと代表の西沢洋明さんは結んでいました。

◆5団体がパネル展示



5団体(三田体験農場、NPO法人川の自然と文化研究所、NPO法人からだ堂、三郷郷土研究会、古厩区)がパネルに活動成果をまとめ、活動で作った加工食品、冊子などの成果物を展示して、内容を説明しました。

古厩区はふるさとの歴史と伝説野外学習会を兼ねて取り組んだ「きのこ狩り」を中心に、一年間の行事を報告しました。区では古厩地区と宮城地区の地区間、世代間の交流に重点を置いた取り組みをしておりその意気込みが伝わりました。

◆交流会

参加者は2グループに分かれて、所属団体の活動内容などを紹介しながら、市民活動を展開する上での話題や課題を話し合いました。どちらのグループも話題が次々に展開して、楽しく交流出来ました。

報告会について、「補助金を活用した事業を行うことで、いろいろな人と知り合い、つながりが広がった。世間が広がった。」「補助金を活用し資料を整えたり、ネットワークができたりして事業が推進できた」などの感想がありました。





# レポート

## ■ 第28回あやとり&トーク

2月26日(火) ■場所 豊科交流学習センター きぼう  
 ■主催 安曇野市ボランティア連絡協議会豊科支部

あやとり&トークはあやとりをするように人と人がつながり、共に学ぶ場にしようと毎年開催されています。現在活躍中のボランティアだけでなく地域の皆様とも交流しています。



今回は日頃の疲れを癒して、これからも活躍していただける様に楽しいプログラムにしました。この機会を生かしてボランティアに活躍している方々の活動成果発表も同時に行いました。支部所属の22団体の会員、恒例になったこのイベントを心待ちにしていた方々など、約120名が参加して邦楽と落語を楽しみました。

箏の演奏は安曇野を拠点に活躍している「箏アンサンブル樹楽韻(きらくね)」の3人が「荒城の月」など3曲を演奏しました。箏の雅な響きに会場はゆったりとした雰囲気になりました。

落語は「まつかわ落語会風まんだら」の「はげのやつるつる」と「善亭穴太(よしていあなた)」さんが語り、本職顔負けの話術に引き込まれ、笑い声が上がっていました。

ボランティアの皆さんの発表も素晴らしく、日頃の活躍の一端を知ることが出来ました。  
 (安曇野市ボランティア連絡協議会豊科支部 事務局)

### こんな活動をしています

#### 健康づくり集団 安曇野市歩こう会

「健康づくり集団 安曇野市歩こう会」は7グループが活動しています。その一つ「寺所歩こう会」は歩きながら道路の清掃や除草を、雪が降った時には除雪活動などのボランティア活動をしています。日頃ウォーキングに利用させてもらっているお礼の気持ちも含めて行っています。

そんな活動を認められて、ボランティアで道路の美化につとめ、里親として道路愛護活動を行う「信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)」の協定を長野県、安曇野市と三者で2月22日に結びました。調印式では関係者、報道関係など多数の方々の中で署名し、緊張しました。

協定範囲は安曇野ICより西に1.2kmと北に0.3kmの県道ですが、その他に自主的に寺所地区の通学路など美化する道路の総延長は約3.5kmになります。これとは別に除草だけを行っている歩道、車道もあります。会としては全体で15kmにも及ぶ範囲の美化をすることになり、大変な労力が必要です。4月には「信州花フェスタ2019」が始まり、多くの観光客が訪れることが予想されます。安曇野の玄関口にあたる地域を担当することになり身の引き締まる思いです。

幸いなことに、会員の気持ちは旺盛で、穂高の有明や柏矢町および三郷の小倉地区の会員からの応援希望もあり、この大役を成し遂げたいと思っています。

(健康づくり集団 安曇野市歩こう会 会長 花岡 伸泰)



# くるりん講座

平成30年度第4回くるりん講座  
 明科いいまちつくろうかい!!活動について  
 ~5年間の歩みを中心に~

2月23日(土) ■場所 安曇野市市民活動サポートセンター「くるりん広場」

明科地域の活性化に取り組んでいる「明科いいまちつくろうかい!!」の活動について内川勝治代表にお話して頂きました。

「明科いいまちつくろうかい!!」は、平成30年9月に5周年記念事業を行いました。公民館と明科支所が一体の複合施設が計画されたことから地域の皆さんがワークショップなど話し合いを重ね、協働のまちづくりを住民、高校生、行政が力を合わせて進めることになった経緯の説明がありました。



その後、平成25年に「いいまちサロン」を毎月最終火曜日に、平成28年に「あやめほっこりカフェ」を毎月第一木曜日に開催して地域の交流を図り、4つのプロジェクト(あやめまつり協力、いいまちサロン、ウォーキング、写真コンテスト)及び情報を発信する「明科いいまち通信」などの事業を展開して地域の活性化に取り組んでいるとのことでした。

質疑応答、意見交換では、参加した区の関係者、市民活動関係者から活動を継続できている要因、運営上の課題などに関する質問があまりました。会の運営を継続するために「何」を、「どう」克服したか、今後の課題など、講座の中では語りきれなかった内容も含めて回答がありました。

### ◆3年間、ご支援、ご指導ありがとうございました

協働コーディネーター3名は3月31日をもって任を解かれます。大変お世話になりました。ご支援、ご指導に感謝申し上げます。



市民活動サポートセンター登録団体の皆様はじめ、くるりん通信取材にご協力頂いた皆様、くるりん講座・くるくるセミナーに参加頂いた皆様、ホームページを活用して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

登録団体の皆様には一方ならぬご協力を頂いて、くるりん広場交流会を2回開催する

ことができ、「生き活きまちづくり」冊子を2期にわたって発行できました。感謝!感謝!です。市内を中心に活動を進めている皆様の交流、情報共有に役立ったと思います。

市民活動サポートセンターを協働のまちづくり拠点にする重たいミッションを与えられ、協働コーディネーターとしてその実現に努めて参りました。道半ばという状況ですが、新たな展開が始まることになり、心残りですが去ることになりました。今後も業務を通じてできた縁、絆を大切に、協働のまちづくりに邁進いたします。

立場は変わっても協働のまちづくりにかける情熱は持ち続けています。ともに協働のまちづくりに取り組みましょう。あしたの安曇野市のために!!  
 (今泉、田中、花岡)